

(平成30年度単年度経営計画)

(公財)京都市都市緑化協会	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

基本事項

所管局課	建設局みどり政策推進室	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	50,000 千円	本市出えん率	100.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	自律化	目標年度	令和2年度
-----	-----	------	-------

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	業務全般について、公益性を確保しながら合理化と収益性の向上を図る。指定管理業務では施設活用を積極的に図り、料金収入等の増加を目指す。また、社会的ニーズに対応した各地での普及啓発事業を一層拡大する。
財務面	安定的に公益目的事業を推進するための新たな財源を、指定管理業務及び他の事業において開拓する。基本財産における京都市出資比率については、期間内に25%未満とすることを目指す。
組織面	効率的な人員配置に努める一方、自律的に事業を推進、拡大できるよう、必要な人材の育成又は採用を行う。
その他	緑のボランティアの支援、京都の「緑の文化」の発信、希少植物保全等により、緑化関連団体、大学、企業、市民団体、地域団体、マスコミ等の各団体との連携・協力関係を一層広げる。

当年度の取組目標に対する意見

所管局	自律化のための要件としては、本市出資金比率を引下げるのみとなっている。しかし、自律した経営のためには、安定的な財源の確保が急務となっている。公園事業での積極的な投資・施設活用や魅力あるイベント開催のほか、法人の得意分野を生かした新規事業を開拓するよう促していく。
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)

団体	平成30年度は、課題であった新規事業を受託し、財政基盤の強化に取り組んだ。また、社会的ニーズに対応した普及啓発事業の実施や、緑のネットワークの拡大に努めた。京都市の出資比率引下げについては、役員等に説明を行い、令和2年度の引下げ実施に向けた取組を着実に推し進めた。
所管局	財務面では、平成30年度は、度重なる台風の接近や夏の猛暑等により、公園の自動販売機や駐車場収入が大きく減少したが、経常収益は、新たな受託事業の獲得等により、前年度を上回った。今後、利用料金収入の増収、安定化に一層努める必要があるが、7期連続の黒字を達成したことは評価できる。事業面においては、京都市緑のまちづくり支援事業を引き続き受託し、市内のボランティア団体等への支援を本格的に行った。また、京都の生物多様性保全に関する事業も積極的に拡大した。指定管理業務では、2公園の指定管理の公募に応じ、指定が更新できたほか、梅小路公園のJR新駅の開業（平成31年3月）に対応し、京都駅西部エリアの活性化につながる各種事業を行った。

(公財)京都市都市緑化協会	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

本市のえん率引下げに向けた実施計画			
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
中期経営計画における取組内容	引下げ方法の検討、京都市建設局との協議、京都府政策法務課への協議、評議員・理事・監事の意向確認の開始、方法の暫定方針決定。	法人名称・定款・規程等の変更の可否の検討。変更の場合、定款・規程修正・各種出版物等の変更・修正作業。	引下げの実施（理事会決議、評議員会の承認）。法人名称・定款等変更の場合は、評議員会決議、変更登記、京都府への変更届。
当年度目標	自律化の方向性は法人内部で確認済みであるが、自律化の最後の要件である出資金比率の引下げに伴う具体的手続きや自律化完了の影響については議論をしていない。平成30年度は京都市及び京都府との協議をふまえ、これらの議論を行い、引下げ手続きの暫定的な決定を目指す。		
当年度結果(※)	平成30年5月決算理事会、6月定時評議員会、平成31年度予算理事会で理事・監事・評議員に対し、引き下げのスケジュール（理事会は令和2年3月の予算理事会、評議員会は令和2年6月の定時評議員会で承認を得る予定）及び方法について、説明を行った。		

(1)業務に関する取組

目標1 「公園施設利用の拡大」	
中期経営計画における取組	梅小路公園、子どもの楽園の指定管理期間の更新を迎えるが、最大限の施設活用による公園事業、イベント開催等の魅力あふれる公園施設運営により利用者数を増やし、利用者の利便性・快適性の確保とともに収益拡大を図る。
当年度目標	再整備される梅小路公園七条入口広場や平日の子どもの楽園を含め、イベントの主催や誘致等により公園施設の積極的な活用と収益拡大を図る。
当年度結果(※)	平成30年度は広報の強化を図り、公園内イベントの特設ページ作成や新たにSNSを開設する等、ウェブを活用した集客に取り組んだ。その結果、梅小路公園の庭園ライトアップイベント「紅葉まつり」では来園者が前年度に比べ約56%増加した。

指標	指定管理公園の利用料金及び自主イベント入場料の合計額 (単位：千円)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	-		32,000		35,000		40,000	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	30,000	29,446	32,000	31,815	-		-	

(平成30年度単年度経営計画)

(公財)京都市都市緑化協会	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

目標2「公益目的事業における普及啓発事業の拡大」								
中期経営計画 における取組	各地の地域団体、企業、学校等を対象にした出張講習会等の開催や講師派遣を増やすとともに、専門的なニーズに対応した企画等にも幅を広げる。							
当年度目標	京都市緑のボランティアセンターの窓口運営を通じて、各地の緑の活動団体向けの出張相談・講習等を積極的に行う。緊急課題であり社会的要請が強い京都の生活文化を支える希少植物の保全、防災と雨水利活用を図る緑地づくり等の専門的テーマについて、専門家との情報交換を図り、普及啓発に取組む。							
当年度結果 (※)	京都市緑のまちづくり支援業務として、モデル花壇2か所の設置や、相談・講習・維持管理補助等119件の支援業務を行った。また、グリーンインフラとして注目される雨庭の調査研究と一般への普及を目指す「京都雨庭研究会」を事務局として運営し、平成30年度は7回の研究会を開催した。							
指標	公益目的事業の緑化関連講習会等の総参加者数 (単位：人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	4060		4,300		4,450		4,600	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	4,060	4,067	4,300	4,055	-		-	

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位：千円)	
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考欄	
	予算	実績(※)	予算	実績	予算	実績		
経常収益	317,650	316,425						
経常費用	317,650	314,328						
当期経常増減額	0	2,097						
当期正味財産増減額	0	2,097						
資産合計	-	197,397						
負債合計	-	95,811						
正味財産	-	101,586						
うち累積損益額	-	0						

目標「新たな安定的な財源の確保」								
中期経営計画 における取組	公益目的事業を持続的に推進していくため、公園事業のほか、京都ゆかりの希少植物の保全や雨庭普及等得意分野を生かした新規の受託事業、物販及びその他新規の事業により収益拡大に取り組む。							
当年度目標	対価を伴う専門的な相談業務、各事務所での物販、その他新規の収益性のある事業に積極的に取り組む。							
当年度結果 (※)	平成30年度は、京都市からの新規事業も受託したが、京都市以外からの新規受託事業も獲得し、平成30年度の目標を大きく上回った。また、令和元年度からの京都市深草墓園の指定管理者としての指定も受けることができた。							
指標	新規事業収益の合計額 (単位：)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	-		4,000		8,000		10,000	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	-	1,200	4,000	10,588	-		-	

(公財)京都市都市緑化協会	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

(3)組織に関する取組

目標「事業推進体制の確立」	
中期経営計画における取組	すでに京都市派遣役職員の受入れを廃止しており、効率的な人員配置に努める一方、欠員が生じている部署については、自律的に事業を推進、拡大できるよう必要な人材の育成又は採用を行う。
当年度目標	自律化に備え、社会的ニーズが高い分野又は新たな財源が見込める分野を見据え、効率的な人員配置及び事業推進体制の検討を行う。
当年度結果(※)	収益性の向上や新たな分野への進出を見据え、民間企業での経験が豊富な人材の獲得を行った。

指標	(単位：－)							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	(派遣受入れ廃止済み。)		効率的な人員配置及び事業推進体制の検討		必要な人材の配置		必要な人材の配置	
	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
実績	－	－	効率的な人員配置及び事業推進体制の検討	新たな人材の採用	－		－	

(4)その他の取組

目標「みどりのネットワークの拡大」	
中期経営計画における取組	市内各地の緑のボランティアの支援、都市の風格を高める京都の「緑の文化」の発信、京都ゆかりの希少な植物(和の花)とその生息環境の保全等により、緑化関連団体、大学、企業、市民団体、地域団体、マスコミ等の各団体との連携・協力関係を一層広げる。
当年度目標	平成29年度からの京都市緑のボランティアセンターの窓口運営を本格的に行い、特に技術支援を通じて、各地の緑の活動団体(地域団体、企業、寺社、学校等)への支援や相互協力を進める。また、団体間の情報交換を積極的に行う。
当年度結果(※)	これまでの取組に加え、平成30年度から本格的に始動した京都市緑のボランティアセンター窓口運営を含む京都市緑のまちづくり支援事業により、今年度の目標を達成することができた。

指標	当協会が主体となり行う又は支援する都市緑化関連活動業を通じ、連携・協力する団体数(累計)								(単位：団体)	
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度			
中期経営計画	250		270		300		320			
	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績		
実績	250	220	270	275	－		－			